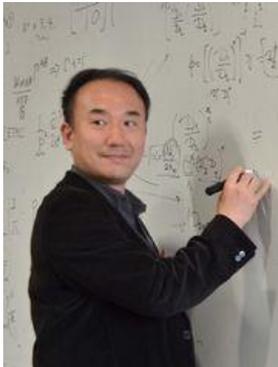
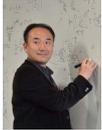


教室

【新設】重力波天文学入門

講師名	東京大学理学系研究科准教授 安東 正樹 東邦大学講師 関口 雄一郎 高エネルギー加速器研究機構・総合研究大学院大学准教授 郡 和範
講座内容	<p>2016年2月12日アメリカのLIGO実験チームにより、重力波の初検出が報告されました。約13億光年のかなたで、それぞれが太陽の約30倍の重さを持つ双子のブラックホールの衝突によりつくられた重力波でした。これは重力波天文学の幕開けを意味します。今後、光では見ることができない未知の現象が続々と明らかになってくることが期待されます。本講座では、最先端の重力波研究に焦点を当て、わかりやすく解説いたします。（郡・記）</p> <div data-bbox="970 674 1528 1384" style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;">  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">安東正樹さん / 関口雄一郎さん / 郡和範さん</p> </div> <p>第1回 重力波天文学の誕生＝東京大学准教授・安東正樹 第2回 天体起源の重力波＝東邦大講師・関口雄一郎 第3回 宇宙初期起源の重力波＝高エネルギー加速器研究機構准教授・郡和範</p>
日時・期間	第2週・第4週 土曜 15:30-17:30 4/22～5/27 3回
日程	2017年 4/22, 5/13, 5/27
受講料（税込み）	4月～5月(3回) 会員 9,072円 一般 11,016円
注意事項	

お申し込み

ご案内

当日は受講券をお持ちください。

講師紹介

安東 正樹 (アンドウ マサキ)

1971年生まれ。京都大学理学部卒。東京大学大学院理学系研究科修了。博士(理学)。日本学術振興会特別研究員、東京大学理学部助手、同助教、京都大学 理学部特定准教授、国立天文台准教授を経て、2013年より東京大学大学院理学系研究科・准教授。重力波望遠鏡の開発や観測・データ解析、および相対論検証実験などを研究している。著書に『重力波とはなにか』（講談社ブルーバックス）などがある。

関口 雄一郎 (セキグチ ユウイチロウ)

東京大学教養学部、同大学院総合文化研究科卒業。博士(学術)。

国立天文台理論研究部研究員、京都大学基礎物理学研究所特任助教をなど経て、現在、東邦大学理学部講師。第1回東京大学一高賞、第7回日本物理学会若手奨励賞を受賞。専門は宇宙物理学。特に、スーパーコンピュータを用いてアインシュタイン方程式を解くことで、ブラックホールの誕生などを再現し、それらの謎に迫る研究を行なっている。

郡 和範 (コオリ カズノリ)

1970年兵庫県生まれ。2000年 東京大学大学院 理学研究科 物理学専攻 博士課程 修了。2004年 米ハーバード大学 ハーバード・スミソニアン天体物理学センター 博士研究員。2006年 英ランカスター大学 物理学科 研究助手。2009年 東北大学大学院 理学研究科 物理学専攻 助教。2010年 高エネルギー加速器研究機構 助教。2012年 高エネルギー加速器研究機構 研究機関講師を経て2014年に現職。その間、京都大学、東京大学、大阪大学の博士研究員に従事。研究内容は、宇宙論・宇宙物理学の理論研究（キーワード：ビッグバン元素合成、バリオン数生成、インフレーション宇宙論、ダークマター、ダークエネルギー、ニュートリノ宇宙物理学など）。著書に『宇宙物理学（KEK物理学シリーズ3）』（共立出版）、『宇宙はどのような時空でできているのか』（ベレ出版）がある。

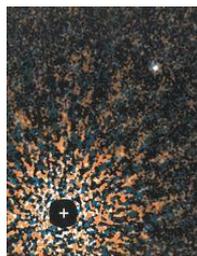
レコメンド



■榊原大
の音楽
塾



ユート
ピアか
デスト
ピアか



第二の
地球に
生命を
探せ！



日本国
憲法と
象徴天
皇

履歴